

南仏治安情報(2010年7月)

■プロヴァンス地方

1. 車両部品などの盗難が頻発

マルセイユ市 12 区の Saint Barnabe 地区では、1 年で 700 件以上の車両部品が盗まれており、時には一晩で連続 18 件の被害が出るなど被害は深刻化しています。当地区に駐車する車両では、特に Renault の自家用車が被害に遭いやすく、ライトやバッテリーなどを繰り返し盗まれる被害者も出ています。盗難部品は北アフリカ諸国で主に転売されているようです。

2. 空き巣に改めてご注意を

7 月 3 日にマルセイユ市内で 2 人の空き巣狙いが逮捕されました。25 歳と 30 歳の男の 2 人組は、アパートの地下倉庫を狙って犯行を繰り返しており、自宅からは盗んだ車のタイヤなどが押収されました。他にも自宅に侵入し宝石類を盗む空き巣が数件見られています。自宅だけでなく倉庫などの戸締りにも十分ご注意ください。

3. プロヴァンス地方の大気汚染が深刻化

当地方では工場や空港の存在、頻繁な交通渋滞が原因での大気汚染が懸念されています。特に気温が上昇してきた 6 月末から 7 月上旬には、大気中のオゾン濃度が規定値を 2 週間で 14 回も超えて観測されています。規定値を超えると高速道路での速度規制が行われ、違反すると 22~35 ユーロの罰金が科されます。道路脇の電光掲示板などに注意してください。

4. 麻疹・はしかの流行の兆し

日本でも 2007 年に大流行した Rougeole(麻疹・はしか)が、マルセイユ市内で流行の兆しを見せています。例年は入院を必要とする重症の患者数は年間 1~2 人ですが、今年に入り週に 1 人のペース、また 7 月上旬には 10 数人が緊急入院しています。フランスでは乳児への予防ワクチン接種が義務付けられていますが、免疫は 10 年ほどで薄れるため、成人の感染者が多く見られています。感染力の強い病気ですので十分ご注意ください。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 押込み強盗が多発

7 月中には地方紙が報じたものだけでも 9 件の押込み強盗が起きました。ニース市内より郊外の邸宅や高齢者宅が対象となっており、被害者を脅迫して金庫や貴重品の在り処を聞き出す凶悪な事件の他、夜間の就寝中に開けたままにした窓から侵入するものや、日中に別荘に侵入し多額の現金や貴重品を盗むものもありました。

2. 弱者を対象とした引ったくりの防止策

当地方では裕福な高齢者や土地勘のない観光客などを狙った引ったくりが多発しています。これを受け警察は注意喚起のため、7 月上旬に 200 人近くの高齢者を対象に防犯講習会を行いました。引ったくりを防止するには次のような点にご注意ください。

1.カバンをたすきがけに持つか、現金を上着の内ポケットに入れる、2.目だった貴重品を身に付けない、3.高額な現金を持ち歩かない、4.車に対向する側の歩道の、道路側でなく建物側を歩く、5.人気のない道や暗がりを避ける、6.引ったくりに遭った場合、スクータ

一等に引きずられ負傷するケースも多いので抵抗しない、7.尾行されていると思われる場合は、近くの商店に入ったり警察官に助けを求める、等。

3. サソリ等の危険動物に注意

7月に Antibes 市在住の男性がサソリと思われる小動物に刺され、翌日には半身が麻痺し入院する被害に遭いました。他にも今夏は Biot 市で2名が同じくサソリに刺されており、ペットとして飼われていたものが逃げ出して発見されるケースも多いようです。サソリの毒は死に至らないにせよ、強い痛みを伴います。刺された場合は患部を氷などで冷やし、病院もしくは近隣の毒物対応窓口(マルセイユ 04.91.75.25.25)に連絡するようにしてください。

■ミディ・ピレネー地方

1. トゥールーズ市内での恐喝グループを逮捕

7月上旬にトゥールーズ市 Arenes 地区で恐喝を繰り返していた若者4人が逮捕されました。無差別に歩行者を狙ったこのグループは携帯電話、MP3プレーヤー、銀行カードなどを中心に恐喝し、暴力を加えるだけでなく催涙ガスなども使用していたようです。今年に入り少なくとも30件の恐喝事件に関与しており取調べが続いています。

2. 放火事件が再び頻発

以前よりトゥールーズ市および郊外では放火事件が多く見られていますが、7月に入り再び増加傾向にあるようです。7月14日夜の23台を含む合計58台の車両が放火される他、市内のごみ箱やごみコンテナ17個が被害に遭っています。

3. 繁華街での傷害事件が多発

7月4日にモンペリエ市のディスコ Le Fizz 閉店後に、酒に酔った2人の客の間での喧嘩が激化し、24歳の学生が暴行により死亡する事件が起きました。モンペリエ市では特に夜間の暴力事件が多く見られていますが、事件のほとんどが泥酔状態での暴行で発砲事件やグループ間の大乱闘に発展するものも多いようです。

4. バカンス中のカード詐欺事件が増加

バカンス中は旅行などでカードでの支払いをする機会が増えますが、詐欺によりカード情報を盗まれる可能性も高くなります。7月18日には一挙に700人もの被害者が、メキシコにいる犯人により高額引き出される事件が起きました。カード本体を盗まれるわけではないので、カード情報の悪用に気づかず被害が深刻化することも多いようです。ご注意ください。

5. コルシカ島でのレストラン爆破事件

7月27日深夜、Porto-Vecchio の Santa Giulia 海岸のレストラン La Siesta が何者かにより爆破される事件が起きました。幸い被害者はなく建物への被害も小規模でした。現在のところ犯行声明などは出されていません。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。